

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

広南中学校区 校番 2 学校名 呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	学校教育目標に沿い、進捗状況を加味しながら、適切に設定されている。
目標達成のための方策の適切さ	A	進捗状況を分析しながら、適切に設定されている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	どの学級も学級全体で学びが深められていた。積極的に発言しているし、自分の意見を言うことができている。発表しやすい雰囲気づくりができている。タブレットが工夫して使われていた。タブレットがあると学習への興味が増しているように感じた。
今後の改善策(案)の適切さ	A	適切な内容である。誇れる教育を期待している。
その他		文化活動発表会や防災の取組等、地域と一体となった教育に感謝している。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・職員全員が年に1回ずつ実施する校内研究授業等を通して、ICTの効果的な活用や、考え協議することで学びを深める授業づくりを推進する。 ・生徒会活動を、生徒による主体的な学校づくりに繋げていく。 ・防災教育等、地域と協働した教育活動を創造していく。 ・行事等の取組について、校内企画委員会で丁寧に検討し、業務量のバランスを考えた役割分担や、見通しをもった計画的な業務遂行ができるようにする。
--------------------	---